

4月30日(火)

私たちは何を掲げているのか？

聖書朗読 ヨハネ 3:10～15

神の国とその義とをまず第一に求めなさい。

マタイ 6:33

ニコデモは夜にイエス様に話を聞きに来ました。イエス様は彼が教育を受けた男——イスラエルの教師だから彼にとって理解するのはもっと簡単なはずだと指摘することで、彼にかなり厳しい時間を与えたように見えます。

イエス様はこのパリサイ人に、荒野で蛇が掲げられたように、イエス様を信じるすべての人が永遠のいのちをもつために、イエス様も掲げられなければならないと話しました。銅の蛇は神様の導きのもとモーセによって作られ、人々の罪の結果として蛇に咬まれた人を癒すために掲げられました。この像を見るだけで、劇毒が取り去られたのです。その役割は終わりましたが、その銅の蛇は600年以上も保存され、ヒゼキヤ王がイスラエルを清める時にそれを破壊するまで、偶像崇拜の対象となっていました。

この物語の中に私たちの現代が見えませんか？ 独特で、エキゾチックな見た目のものに魅惑されるのはなんと簡単なことでしょう——私たちがそれに与えている時間や優先順位を考えながら、実際にそれを礼拝するまで。それが何であれすぐに——様式——習慣——振る舞い——スタイル——時には人物まで——ほとんど最重要なものとなってしまいます。場合によっては私たちの人生の中で一番を占めるものとなるために、私たちの神様への集中や公言している神様への望みに取って代わることさえするかもしれません。

神様が私たちの中にご覧になっていらっしゃる、神様の優先順位のために自らの欲望を乗り越えるものとはなんでしょうか？

讃美歌 379

祈り お父様。あなたが私たちの人生で一番重要な場所を占めるように、私たちの目を開き、私たちの心を清め、私たちの望みを新たにしてください。私たちが愛を実践することができるように、日々助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ノーマ・プリヴィット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

5月1日(水)

私は盲目であったが、今は見える

聖書朗読 ヨハネ 9:1～12

彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、私は知りません。ただ一つのことだけ知っています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」 ヨハネ 9:25

あなたは「木を見て森を見ず」のような経験をしたことがありますか？ たぶんあなたは、自分の無くした鍵を探すとき、いつもの場所を探すのに夢中になって、鍵が置いてある棚の前を何回も通り過ぎたことがあるでしょう。あるいはもしかすると休暇の時に、スケジュールをあまりにたくさん活動でいっぱいにしてしまい、帰ってきたときには出かける時よりも疲れ果ててしまっていたことがあるかもしれませんね。私たちはたやすく、細かいことや間違った認識にはまり込んでしまい、より大きな意味や目的を見失ってしまいます。

ヨハネ9章では、イエス様が安息日に目の見えない男性を癒した後、パリサイ人たちがこの悩みの種に苦しめられたことが明らかになりました。彼らは、安息日の仕事に関する人間の作った法律に対するイエス様の違反行為を調べることに気を取られすぎるあまり、その目的を見失って安息日の主としてのイエス様に気づくことができませんでした。その間に、目の見えない男性の目は肉体的に開かれたのと同じように霊的にも開かれ、彼のイエス様に対する見方は「人」(11節)から「預言者」(17節)、そして「主」(38節)へと進歩していきました。そして最終的に、盲目に生まれた人には見え、より高位のビジョンを主張していた人々は暗やみに取り残されたのです。

聖歌 451

祈り 主よ。私たちがつまらないことに集中するあまり、あなたが何者であるかということや、あなたの子どもとしての私たちに対するあなたの目的を見失うことがないように助けてください。どうか、私たちが自分の人生や周りの人たちの人生の中で、あなたの御業を見ることができるよう、私たちの目を開いてください。

キリストを通じて祈ります。アーメン。

ジャン・ノックス

テキサス州 グランベリー

5月2日(木)

イエスは涙を流された

聖書朗読 ヨハネ 11:28～44

彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。

イザヤ 53:3

何十年も前のあの日曜日の朝の記憶は、その当日とほとんど同じくらい明瞭に覚えています。それは晩春か初夏のころでした。相棒のジミーと私は説教の時間のほとんどを、聖書の中で最も短い節を探すことに費やしていました。私はそれが福音書にあることを知っていましたが、どの節がそれであるか覚えていなかったことを記憶しています。なんにせよ私は今でも、私たちが次々にページをめくり、最も短い節を探すという意志でそれぞれのページをチェックしていった様子を目に浮かべることができます。

今——およそ60年も後になって——ヨハネの福音書11:35はその長さに関する特徴よりずっと大きな意義を持っていることを知っています。それは、私が多くのお墓の横で喪失感に泣いている遺族に対して話す機会を与えられてきたからです。私が『イエスは涙を流された』という言葉の神秘と力に対して抱いている畏敬の念は、深いものです。

この短い節について、完全には解き明かされることができない意味合いもあるとはいえ、ここで泣いておられるお方が人となって私たちの間に住まわれたことば(そしてそれは神様)(ヨハネ1:14)であることは、覚えておくべきことです。マリヤと、共にいたすべてのユダヤ人たちが涙する光景を見て、イエス様は彼らと共に涙を流されたのです。イエス様とのお父様だけは、すぐに素晴らしい出来事がまさにそのお墓のそばで取って代わることを知っていたにもかかわらず、イエス様は彼らの——そして私たちの——悲しみの中に入られたのです。イザヤが何世紀も前に言明していたように、『彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった』(イザヤ53:4)のです。

讃美歌 第二編 269

祈り 私たちの天のお父様。友のお墓のそばで涙を流される方。私たちが大きな悲しみを強いられる時、あなたの涙だけでなく、永遠のいのちを与えてくださるといふあなたの命令を思い出させることで、私を励ましてください。
イエス様の御名により。アーメン。

クリス・フリーゼル
テキサス州 グランベリー

5月3日(金)

仕える力

聖書朗読 ヨハネ 13:3～17

あなたがたのうち一番偉大な者は、あなたがたに仕える人でなければなりません。

マタイ 23:11

今朝、一人の女の子が学校のドアの外に立って手に顔をうずめて泣いていました。娘にその女の子と一緒にクラスに行くように頼んだところ、女の子はためらい、それから顔を上げて、そしておずおずと私の娘が伸ばした手を取りました。私は彼女たちがホールを歩いていくのを見ながら、娘が仕えるために必要な自信と優しさを備えていることへの感謝の念に満たされました。

このことを考えるにつけ、私は自信と奉仕の間のつながりの強さを思いださせられます。ヨハネの福音書13章で、私たちはイエス様が最もへりくだった奉仕に専念するのを見ます——弟子の足を洗うことです。この話の中で最も感銘を受けることは、イエス様にこの奉仕をさせた動機です。『イエスは、父が万物を自分の手に渡されたこと、ご自分が父から来て父に行くことを知られ、』(3節)。

イエス様は真の奉仕は不完全な思いや不安から来るものではなく、神様から与えられたアイデンティティにある自信から来るものであることを実演して見せました。あなたは神様に愛され、力づけられているのです！他の人に仕えることで、あなたの素晴らしさを実演することを選びましょう。

讃美歌 第二編 169

祈り 主なる神様。私たちが何者であるか、思い出させてください。私たちがあなたの前に自信を持って立つことで、他の人たちの前に進んで跪くことができるように助けてください。

力強い奉仕者であるイエス様の御名により祈ります。アーメン。

ドリュー・ベイカー

ノースカロライナ州 ウィンストンサレム

5月4日(土)

闇の中で輝く

聖書朗読 ヨハネ 13:30~35

もし互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。 ヨハネ 13:35

私たちは皆、明かりの小さな揺らめきが闇の中で輝いていることにどのように気がつくかを知っていますが、しかしあなたは今まで、私たちが闇の小さな揺らめきを見たことがないことについて考えたことがあるでしょうか？ 暗やみという物体が存在するわけではなく、闇とはただ光が存在しないということなのです。神様の光は、イエス様の復活という素晴らしい光が現れるまで、苦しみの暗やみによって消し去られてしまっていました。

32節では、イエス様は一つなるイエス様と父なる神様が互いに『栄光を与え』あったと述べています。『栄光を与える』ということについて考える時、私は輝かしい光か、スポットライトによる照明の光を思い浮かべます。イエス様は弟子たちに互いに愛し合う行動が、結果として彼らが輝き、イエス様をスポットライトで照らすことになるのだと話しました。イエス様は彼らに、ご自身を反射することで暗やみの世界の光となることをゆだねました。

息を飲むような満月は、それ自身の光で輝いているわけではありません。月は太陽を反射しているのです！ 私たちがへりくだって御子を反射し、愛を行なう時、私たちは世の光であるイエス様にスポットライトをあてることになるのです。私たちの光はイエス様に反射します。イエス様の光が、私たちの行く所どこでも明るく輝きますように！

讃美歌 第二編 17

祈り お父様。あなたに私たちの喜びと希望を求めたいと思っています。私たちが今日、その喜びと希望と一緒に分け合うことのできる誰かの存在に気づけるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

マーク・ゴメズ

テキサス州 ベッドフォード

5月5日(日)

まだ読んだことがない？

聖書朗読 ヨハネ 17:1~10

「そんな思い違いをしているのは、聖書も神の力も知らないからではありませんか。」 マルコ 12:24

裁判所で目撃者はこう聞かれます。「あなたは被告人がなんと言おうのを聞いたのですか?」。目撃者が聞いた言葉の証言は陪審員にとって重要なものです。

神様は聖書を通して私たちに語りかけられます。神様はご自分の御子であるイエス様を、地上に住み、十字架の上で死に、そして墓からよみがえり、生きておられる神としてのイエス様を私たちが知ることができるための「言葉」として送られました。このことはすべて聖書によって語られています。今日の聖書箇所では、イエス様は彼の言葉を受け入れなかった人々について話しています。イエス様は彼らを神様を拒む人々と関連づけました。イエス様を信じることは聖書を信じることに含まれているのです。

パウロはこう書きました。『聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。』(Ⅱテモテ3:16,17)。ペテロは、神の言葉は神様から来ているのであって、人から来ているのではないと同じ証言をしています(Ⅱペテロ 1:20~21)。

今日、私たちがこの生きた言葉を手に握り、自分自身のためにそれを読むとき、私たちは人生の中で変わりゆく神様の力を証言することになります。私たちの証言は周りにいる人々にとって重要なものです。神様の言葉は力強いのです！ 私たちはそれを信じて心に刻み付けましょう。

讃美歌 第二編 80

祈り おお、主よ。私たちはあなたとあなたの力強い言葉の前に畏敬を抱いて立ちます。私たちがあなたの言ったことを忘れてしまったとき、私たちを赦してください。あなたの言葉が私たちの人生に対してしてくださった御業を証する勇気をください。

イエス様の御名により。アーメン。

ベキ・シュワルツ

ドイツ ミュンヘン